

DIPL 通信第 175 号をお届けします。

2 学期中間テストも終わり、中学生は期末テストまで残りわずかです。中学 3 年生は受験に使う成績を決める最後のテストになります。悔いが残らないように万全の状態です。テストに臨みましょう。

10 月 13 日(土)に秋期高校入試ガイダンスを開催しました。お越しいただき誠にありがとうございました。都立受検は今年も高倍率になることが予想されます。受験の基礎点となる内申を取ることが都立・私立受験に向けた第一の対策になりますので、1 ポイントでも上げられるように全力で定期テスト対策を行って下さい。

さて今回の DIPL 通信では、「高校受験の現状」およびそれに向けた「定期テストの勉強法」についてお話しします。

橋本克哉

秋期高校入試ガイダンス

多摩地区 都立・私立高校の現状及び来春入試の動向

新教育研究会・W もぎ主催 穴澤嘉彦先生

<高校受験倍率>

都立高校の受検倍率は H29 年度 1.42 倍から H30 年度 1.38 倍と 9 年ぶりの 1.3 倍台になった。しかし、普通科男子、普通科女子は前年度並みの 1.46 倍前後であった。つまり、普通科は依然として高倍率入試である。

ただ、都立高校普通科については中堅～上位の高校については高倍率の入試が続いたが、下位の高校の一部では定員割れ(1.0 倍以下)の学校もあった。

都立高校の合格者数が募集人員より少なかったのは平成 6 年度以来である。

これは、私立高校の授業料助成金の拡大により私立高校を第一志望とする生徒が増加したためだと考えられる。

<受験動向>

都立志向は依然として強い傾向があるが、私立高校の授業料助成金の拡大により私立高校を第一志望とする生徒が増加した。そのため都立高校受検では、安全校ではなく挑戦校を受検する動きが見られた。

<今春入試について>

公立中学 3 年生が去年と比較して約 600 人減少するのに伴い、都立高校の募集人数が 240 人減少するため、都立高校普通科は例年並みの倍率の入試が続くと考えられる。

また、大学入試改革に伴い、私立高校については大学附属高校の人気の今春と同様に高くなると予想される。

※私立高校を第一志望とし、単願推薦を希望する受験生は学校説明会に行き、個別相談を受けることを強くお勧めします。

※都立高校、私立高校の各校についてのお話もありました。

定期テストの勉強法について

大野慎介・橋本克哉

高校受験では都立高校、私立高校共に中学3年の2学期に決まる内申が重要になります。都立受験では合計1000点のうち300点が内申点です（オール5で300点）。私立受験もほとんどの学校が単願推薦・併願優遇と共に成績で決まります。

内申を取るためには定期テストで成功することが大切になります（もちろん、授業態度や提出物等も大切です）。定期テストは基本的に学校で学習した内容、学校ワークが出題範囲になります。その中で意識すべきことは以下の3点です。

1 つ目は、教科書、学校ワークを繰り返し実施することです。これは、皆さんには何度も伝えていることですね。定期テストで出題される問題は学校ワークなどと似たような問題が出題されることが多いです。特に理科、社会では全く同じ問題が出題されることもあるので、そのまま覚えてしまうことも非常に有効です。反面、英語、数学では出題形式が変わって出題されることが多いため、そのまま覚えるだけでは対応することができません。なぜそうなるのかまで理解しておくことが必要です。

2 つ目は、学校ワークで間違えた問題のチェックです。間違えた問題をそのままにしておいてはテストではまた同じ間違いをしてしまいます。問題を解き直すことは当然ですが、さらに数学・英語はなぜ間違えたのか、どこで間違いやすいのかのチェックもすることで同じミス二度としないように工夫する必要があります。

数学…計算のどこでミスしたのかのチェック（移項、符号のミスなど）

英語…どのスペルを間違えたか（読みと書きが一致しているかの確認）

以上のように自分がどこで間違いやすいのかのチェックも必ず行いましょう。

その際には、赤や青の色ペンを使うのが効果的です。

3 つ目は、勉強スケジュールの設定です。上記の二つを実施するためには十分な時間が必要です。中間テストでは5科目、期末テストでは9科目分のスケジュールを立てる必要があります。ただなんとなく学校ワークなどを進めるだけでは中途半端な状態でテストを受けることになってしまいます。学校ワークを終わらせる日にちの設定だけでなく、日々どのくらい進めるかも決めてスケジュール通りに進められるようにすることが大切です。

以上のように計画を立てて積極的に勉強を進めると、疑問に思うことが多く出てくると思います。自分で調べる中で解決できないものはどんどん質問として持ってきてください。逆に疑問に思うことが出るくらいの勉強をしなければ高得点は取れません。「目的意識のある」、「意味のある勉強」をして定期テストで高得点を狙いましょう。